

今度の旅は、空の旅にしよう。 鹿児島空港 開港35周年



鹿児島空港は昭和47年4月に霧島市(旧溝辺町)に開港して以来、今年4月1日で35周年を迎えました。

現在の鹿児島空港は、県外13都市、県内7離島への国内線20路線に加え、ソウル、上海への国際線2路線のネットワークを誇り、まさに南九州の拠点空港として発展を続けています。

空港の年間利用者数は、この35年間で開港当初の約170万人から、全国9位の年間約570万人と3倍以上に伸び、昨年は、乗降客数累計1億6千万人を達成しました。

現在、より多くの方に空港を利用していただけるよう、航空ネットワークの充実強化に加え、天然温泉の「足湯」のオープンや、展望デッキの無料解放などの取り組みも進めています。

県では、国際線の利用促進のための助成も行っており、どうか気軽に鹿児島空港から旅にお出かけください。

●鹿児島空港の歩み

昭和32年 7月 1日	旧鹿児島空港開港式 鹿児島―宮崎―大阪線、 鹿児島―福岡線開設 (1日4便)	
	現在の県庁近くにあった▶ 鴨池空港。旧空港開港 から50周年を迎える。	
昭和45年 3月29日	新鹿児島空港着工	
昭和47年 4月 1日	新鹿児島空港供用開始(滑走路長2.5km)	
昭和55年 10月 2日	滑走路長3.0km供用開始	
昭和57年 4月 1日	国際線ターミナルビル供用開始	
昭和63年 10月11日	貨物ビル供用開始	
平成 4年 12月26日	運用時間を13時間(7:30~20:30)から14時間(7:30~21:30)に延長	
平成 5年~7年	国内線ターミナルビル本館施設増築工事(約1.5倍)	
平成 8年 3月	乗降客累計(国際線通過客含む)1億人達成	
平成 8年 12月 ~平成 9年12月	国際線ターミナル増築工事(約2倍)	
平成19年 4月 1日	新空港開港35周年記念行事	

●35周年記念行事が行われました。

霧島市による霧島九面太鼓の演奏、いちき串木野市によるさのさ踊り・ハンヤ節の披露、県庁島唄・三味線クラブによる島唄の披露などが行われました。



鹿児島空港 発着路線

◎鹿児島空港発着の主要路線と所要時間

札幌 <small>(6月～10月運行)</small>	約2時間25分	1便
東京	約1時間40分	13便
名古屋	約1時間15分	8便
伊丹	約1時間10分	11便
関西	約1時間 5分	2便
神戸	約1時間 5分	2便
岡山	約1時間15分	2便
広島西	約1時間	3便
高松	約1時間10分	1便
松山	約55分	1便
福岡	約45分	8便
長崎	約35分	2便
種子島	約35分	3便
屋久島	約35分	5便
奄美大島	約55分	5便
喜界島	約1時間15分	2便
徳之島	約1時間	2便
沖永良部	約1時間15分	3便
与論	約1時間20分	1便
沖縄	約1時間20分	3便
ソウル	約1時間35分	週3便
上海	約1時間40分	週2便

空港を
楽しもう!!



国内空港初の天然温泉足湯「おやっとさぁ」。(午前10時～午後6時・無料)



国内線3階の展望デッキがリニューアルオープン。4月1日から無料開放されました。

◎国際線ダイヤ

路線	運航曜日	ダイヤ
ソウル線 (大韓航空) H2.5.29開設	水・金・日	鹿児島 ▶ ソウル(仁川空港) 12:30 ▶ 14:05
		ソウル(仁川空港) ◀ 鹿児島 11:30 ◀ 9:55
上海線 (中国東方航空) H14.8.28開設	水・土	鹿児島 ▶ 上海(浦東空港) 13:30 ▶ 14:10
		上海(浦東空港) ◀ 鹿児島 12:40 ◀ 9:55

鹿児島空港発着のソウル線と上海線を利用すると、
こんな助成が受けられます。

パスポート新規取得者モニター助成制度

パスポートを今年度取得・更新し、モニターツアーに参加した方を対象に、ツアー料金を助成します。

◎1人当たり 5千円(定員600人)

海外ビジネスツアー助成制度

海外で開催される展示会や商談会などに参加するビジネス利用者を対象にツアー料金を助成します。

◎1人当たり 1万円

国際交流促進ツアー助成制度

海外渡航先で現地の方々と交流を行う10人以上の団体に対して交流経費を助成します。

◎10～19人…5万円 ◎20～29人…10万円 ◎30人…15万円

●問い合わせ先

県庁 交通政策課 ☎099(286)2453